

内容

- 1面 ワーク・ライフ・バランスについて考えてみましょう
- 2面 センターからの報告
- 3面 地域で輝く男性
クロスワードパズル
男女共同参画センター施設案内
- 4面 コンクール入賞者・作品発表
デートDVとは
各種相談のご案内

* 編集・発行 *

船橋市企画財政部
男女共同参画センター

〒273-0003
船橋市宮本2-1-4 船橋スカイビル1F
TEL 047-423-0757
FAX 047-423-3007
Eメール danjo@city.funabashi.lg.jp
http://www.city.funabashi.chiba.jp/shisetsu/shiminkatsudo/0002/0003/0001/p011270.html

情報誌「えふ」は、町会・自治会の皆様のご協力でご世帯に配布しているほか、男女共同参画センターをはじめ市の施設で配布しています。情報誌へのご意見・ご感想などございましたら、ぜひお寄せ下さい。
平成26年(2014年)11月

また、生活の中で「希望する優先度」と「現実の優先度」について伺ったところ(図2)、男女とも希望では「仕事」と家庭生活と、地域・個人の生活の両立」と多くの人が答えているにもかかわらず、現実では「仕事

平成25年度に実施した「市民アンケート」で、ワーク・ライフ・バランスの周知度について伺いました(図1)。「内容まで知っている」と答えた人が、13.8%しかなく、「言葉を聞いたことがある」と答えた人は25.8%を合わせると39.6%で、「全く知らない」と答えた人は42.0%よりも、低い結果となっています。

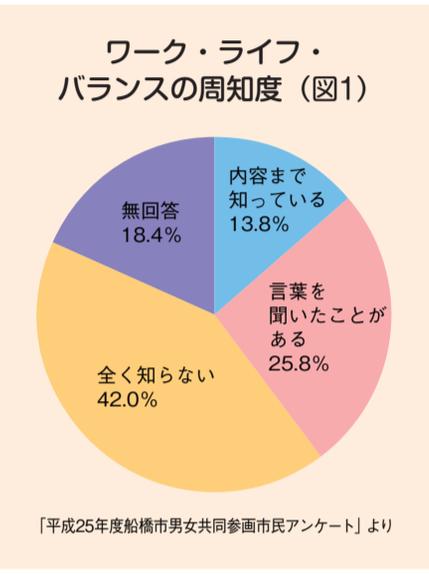
希望と現実

優先」と答えている人が多い結果となりました。特に、男性は、「仕事優先」を希望と答えた人は少なく、4.7%しかいませんでしたが、現実では「仕事優先」になっていると答えた人は44.5%という結果で、希望と現実に大きな差があることがわかりました。

仕事と生活の調和とは

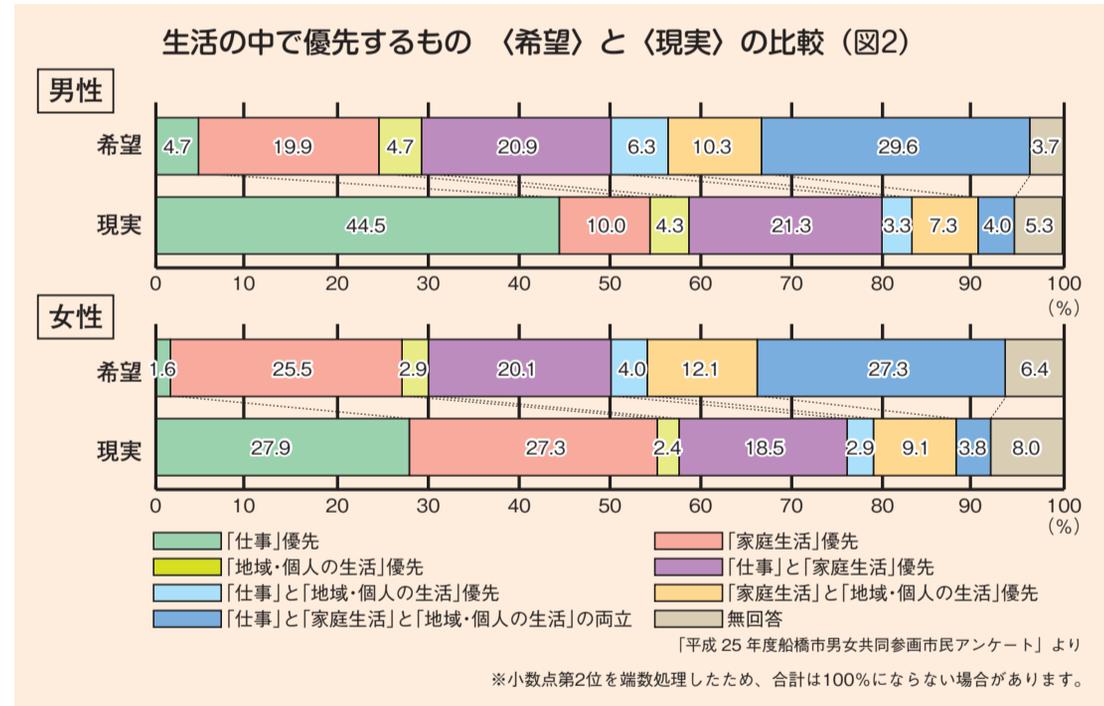
内閣府のホームページ「仕事と生活の調和の実現に向けて」では、次のように説明しています。

仕事は、暮らしを支え、生きがいや喜びをもたらすものですが、同時に、家事・育児、近隣との付き合いなどの生活も暮らしに欠かすことができない



ワーク・ライフ・バランスについて考えてみましょう

毎日の暮らしの中で、何を大切にしたいと考えていますか。仕事、家族との時間や地域活動、余暇時間など、いろいろあると思います。大切にしたいことにかかる時間を、もっと自分の希望するバランスで持てたら、素晴らしいと思いませんか？



いものであり、その充実があってこそ、人生の生きがい、喜びは倍増します。

しかしながら、現実の社会には、「安定した仕事に就けず、経済的に自立することができない」、「仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない」、「仕事と子育てや老親の介護との両立に悩む」など、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られます。

これらが、働く人々の将来への不安や豊かさが実感できない大きな要因となっており、社会の活力が見られます。

自分が望む生活を実現するためには、仕事だけではなく、やりたいことに使える時間を確保し、

力の低下や少子化・人口減少という現象にまで繋がっていると言えます。それを解決する取組が、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現です。

仕事と生活の調和の実現は、国民の皆さん一人ひとりが望む生き方ができる社会の実現にとつて必要不可欠です。

ワーク・ライフ・バランスを見直そう

また、安心して働き続けるためには、その人の置かれた状況に応じて働き方を選択できる仕組みも必要です。

国や企業の取り組みと同時に、一人ひとりの意識の持ち方と実践がワーク・ライフ・バランスの実現に欠かせません。

仕事と家庭や地域生活のバランスを上手にこなすことが大切です。

例えば、「定時に帰れるはずがない」という思い込みを捨てれば、仕事を時間内で終えようとする意識がもっと働くはず

自分のワーク・ライフ・バランスを見直そう
たとえばこんなこと...

- 仕事をしながら、家事も、育児も...疲れてヘトヘトです。
- 親のため介護休業を取りたいけれど、会社に言いづらい。
- 授業参観に行きたいけれど、休んだら同僚に迷惑をかけてしまう。
- 家族みんなで家事を分担
- 効率的に働いて残業を減らす
- 多様な働き方など企業の取組み
- 育児休業・介護休業を取得
- お互い様の気持ち
- 地域のみんなで子育て
- 夫が家事・育児に参加してくれるようになり、ゆとりができました。
- 退職も考えましたが、介護休業を利用できたので、働き続けることができました。
- 有給休暇を使って授業参観。家族の会話が增えました。

ワーク・ライフ・バランスの情報サイトのご紹介

サイト名	内容/ホームページアドレス	担当部署
仕事と生活の調和の実現に向けて	ワーク・ライフ・バランスに関する総合情報サイト http://www.cao.go.jp/wlb/index.html	内閣府男女共同参画局 仕事と生活の調和推進室
「仕事」と「介護」の両立ポータルサイト	各種制度やサービスの情報、ケース別支援メニューなど http://www.cao.go.jp/wlb/ryouritsu/index.html	
イクメンプロジェクト	父親の子育てを応援するサイト http://ikumen-project.jp/index.html	厚生労働省 雇用均等・児童家庭局
両立支援のひろば	企業が行う両立支援の取組等を紹介 http://www.ryouritsu.jp/index.html	

センターからの報告

男女共同参画センターで、行っている事業の一部をご紹介します。

平成25年度 主催講座 近所さんの子育て応援講座

平成26年2月20日(木)、「近所さんの子育て応援講座」を開催し、幅広い年齢層の方々に参加いただきました。



第2部は、法典地区社会福祉協議会子育てサロン・グラスボ事業部長の宮崎留美子さんより、法典地区社会福祉協議会主催で毎月行われている「子育てサロン」の活動内容について説明がありました。

第1部は、「みんな子育てよう地域のこどもたち」と題し、家庭問題評論家の宮本まき子さんから、団塊世代と今の子育て世代の子育てや家族像に対する考え方の違いや、それぞれの立場からできる育児への関わり方を学びました。

今は地域との関わりがない子育て世帯が多いが、昔のように近所で積極的に声をかけ合うことで、子どもは安心してのびのびと育つことができます。特に、団塊世代は子育て世代とは異なる価値観を持っているので、それを地域のボランティア活動などを通じて子ども達に伝えることができたなら、子どもたちの考える力・生きる力を育む手助けをすることに繋がります。その結果、団塊世代もまた、居場所・やりがい・生きがいを求めることができ、良い相乗効果が生まれますと話

されました。

子育てサロンは、ボランティアの皆さんの手で運営されており、活動内容は、親子揃っての室内外の遊びや、歌、工作、季節ごとのイベント、ママさん向けのヨガ等多岐にわたっています。特に外遊びの際はボランティアの手が足らなくなるほど好評を得ているそうです。

まさに地域での子育てのお手本となるお話に、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。



参加した方からは、
・世代間の意識の違いがわかった。
・まずは声かけから始める。
・嫁姑の関わり方について考える良いきっかけになった。
など、様々な感想をいただきました。

平成25年度男女共同参画講演会 一生現役、一生笑顔でいるために

平成25年11月24日(日)、中央公民館6階講堂に、フリーアナウンサーの敷本雅子さんをお招きし、講演会を開催いたしました。

ご自身の経験を踏まえてワーク・ライフ・バランスについてお話いただきました。

局アナ時代は、オーパーワークにより体調を崩したこともありましたが、報道記者となつてからは、人権問題に関心をもち、やりがいを見つけたことなど、活動についてお話がありました。

そして、結婚を機に退職し、専業主婦となりましたが、今度は「家事はやって当たり前」と思われることなどで、自分の

存在意義を失い、もう一度、仕事をしたいと考えながら、大学院に進学し勉強しました。

現在は、講演などの仕事も入るようになったことで、徐々に自信を取り戻していると話されました。

ワークに偏って体調を崩してしまった実体験から、ワークとライフのバランスがやはり重要とのことでした。

また、男女共同参画社会という点、女性も働かなくてはならないと思いがちですが、お金をもらって働いたら一生笑顔で生きていけるのだと思った。

また、男女共同参画社会という点、女性も働かなくてはならないと思いがちですが、お金をもらって働いたら一生笑顔で生きていけるのだと思った。



来場された方からは、
・今後の生活をどうやっていこうか改めて考えた。
・外で働くことだけが仕事ではなく、家事も家族を支える仕事である。ボランティアでも何でも、自分が自信をもって働いたら一生笑顔で生きていけるのだと思った。

参加した方からは、
・具体的で参考になった。
・片付けは苦手だが、まずはモノを減らすことから始めたい。
・家で早速ためしてみたい。
・理論と実践があっても楽しい講義だった。
などの感想が寄せられました。

平成26年度 主催講座 男性の家事講座



「イクメン」や「カジダン」などの言葉に代表される男性の家事参加を進めるため、整理・収納アドバイザー・荻野健司さんを講師としてお迎えし、「男性でもできる！簡単・実践片付けセミナー」を開催しました。

必要のないものを取り除くこと(整理)と必要なものを使いやすい状態にすること(収納)であり、片付けによって、時間的・経済的・精神的効果があると話されました。そして、本や衣類などの整理や収納の仕方について、説明されました。

講義が終わった後は、Tシャツのたたみ方や会場内の収納棚を使っての片付けや掃除を実際に体験しました。



平成26年度センター開設20周年記念 男女共同参画センターフェスティバル

男女共同参画週間(6月23日~29日)に合わせ、平成26年6月23日(月)~28日(土)まで、センター利用団体と運営委員による男女共同参画センターフェスティバルを開催しました。

「ひろがる明日へ!」変わる、変える、創る」のテーマのもと、男女共同参画推進のため、センターを利用する団体を中心として、講座やパネル展示等が行われました。フェスティバル運営委員が企画した「みんなであそぶトーク」では、新聞記事の人生相談を題材に、「夫婦のかわり方」や「老後のひとり暮らし」について、グループワークを行いました。

「夫婦のかわり方」では、人生相談に出てくる夫婦になりきって、ロールプレイを行いました。夫役は女性が、妻役は男性が演じたことから、普段とは逆の立場で考えなくてはならず、なかなかうまくできない様子でした。



講座・展示の内容

展 示	23日 ~ 28日	わたしの一枚
		“今どき”「王朝継紙」に源氏物語「うた」を書く
		サポステってこんなところですよ!
		モノクロを楽しむ
講 座	26日	映画会「アイ・ラヴ・フレンズ」
		みんなでトーク&トーク
	28日	映画会「市政記録映画(船橋 その魅力)」
		楽しき絵本朗読 ーグランマ・グランパに捧げるー
		パソコンって・こんなに楽しい
		“今どき”「王朝継紙」作り体験
		終活セミナー ~賢い家族葬~
韓国ドキュメンタリー映画「女性たちの外泊」		
吉野弘と工藤直子を詩う		

平成26年度センター開設20周年記念 ワーク・ライフ・バランス講演会 日本人を幸せにする経済学



平成26年6月29日(日)、市民文化創造館(きららホール)に経済アナリストの森永卓郎さんをお招きし、ワーク・ライ

フ・バランスをテーマに講演会を開催しました。男女雇用機会均等法が施行された昭和61年頃から現代までの日本人の働き方や、世界に目を向け、日本人に比べ、残業をしないようなヨーロッパの人の働き方。また、高級車や洋服を例えに、イタリアのように、商品に付加価値を付け、他国と競合しないモノづくりをすれば、価格競争がなくなり、休暇取得率が高くなるなどの持論を展開され、

ラテンの気質を取り入れて、ドキドキわくわくしながら、暮らすことが大切であるとユーモアたっぷりに話されました。会場は終始笑いに包まれ、最後まで楽しく聞いていただけましたようでした。

来場された方からは、
・考えさせられる内容を楽しく聞けました。
・息子の休日もない働き方が心配になりました。
・切り替えの思考が大



地域で輝く男性

—重川 恵太さん—

社会福祉法人清和会 特別養護老人ホームワールドナーシングホームで介護員として働く重川さんに、やりがいや自宅で介護している方へのアドバイスなど、お話を聞かせていただきました。

Q 介護員になられた理由をお聞かせください。

A 同居の祖母が急逝したという経験がありました。その時から「何かしてあげられなかったのか」との思いがずっとあり、大学に入る時に福祉関係の勉強をしてみようと思ったのがきっかけです。

Q どういうふうに気を付けて仕事をしていますか。また工夫してらっしゃいますか。

A 心がけていることは「安心」と「安全」です。入居者はもちろん、家族の方にも安心感をもっていただけるよう看護師さんとか他のスタッフとも連携し、入居者の様子や生活ぶりなど変化を見逃さないようにしています。

Q 一日の仕事をお教えください。

A 主に入居者のサポートをしています。朝は朝食の介助や排泄の介助、昼になると昼食の介助やおやつ、水分補給などをし、夜には30分に1回の巡回や排泄介助などをしています。

Q 女性が多いといわれる介護の職場ですが男性介護員として何か感じることはありますか。

A 私は、この施設に実習でお世話になり、とても楽しい職場だと感じました。ここでは一般的にいわれる男女の職員数に差はなく、また職員同士の年齢が近いこともあり、男性、女性ということとを意識したことは特にありません。

Q やりがいをどのように感じていますか。

A 入居者の笑顔を見たときにやりがいを一番感じます。介護職場はイメージとして大変だと思われていますし、実際のところ大変な仕事です。力仕事が多く、体力も必要です。また人と接する仕事ですから精神的にも気を使います。でも夏祭りなどの行事で楽しそうな表情を見ると頑張ろうと、そう思えるんです。

Q 自宅で介護をされている方へのアドバイスをお願いします。

A 自宅介護の経験がないので、アドバイスになるかどうか分かりませんが、やはり「笑顔」だと思います。笑顔は介護される方も、介護する方も誰もが明るくなれます。お互い笑顔でいられる環境をつくるのが大切だと思います。人は一人ぼっちじゃなく共に助け合って生きています。在宅の介護も同じで、一人じゃないと思つことが一番です。

インタビューを終えて

入居者を思い、明るく献身的に仕事と向き合いながら、志を高く持ち、さらなるステップアップを目指している重川さんの姿に感銘を受けました。「笑顔」のある介護が広く行きわたって欲しいと思うとともに、重川さんの笑顔も印象に残りました。



重川 恵太さん

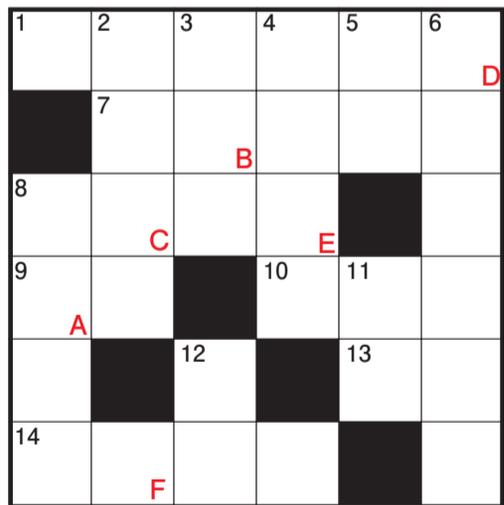
クロスワードパズル

【問題】

クロスワードパズルのマス目の中のA～Fまでをつなげて読むとどんな言葉になるでしょう。

【答】

□□□□・□□□□・バランス



タテのカギ

- 雪で作った家。
- 〇〇〇アドレス、エア〇〇〇、ダイレクト〇〇〇〇。
- 共通する言葉は？
- 長野県北安曇郡にある「樽池」。この読み方は？
- 海や川で、棒に糸をつけて魚をとること。
- 表面が滑らかでない物体に光線があたって、色々な方向にはねかえること。
- 妹は〇〇〇〇なので、お化け屋敷に入れない。
- イカの足の事を別名で何という？
- 雨上がりなどに空に現れる七色の美しい弓形のもの。

ヨコのカギ

- 眉のあたりにしわをよせた不機嫌な顔。
- パンに塗って食べます。パターの代用品として開発されたとか。
- 米、麦、アワ、トウモロコシなどをまとめていうと？
- おぼれる者は〇〇をもつかむ。
- その場の事情などが分からず、納得がいけないさまをおさえて止めること。連勝を〇〇するぞ！
- 道理にあわないこと。

【応募方法】

郵便はがきに、(1)パズルの答え、(2)名前、(3)年齢、(4)住所、(5)電話番号、(6)この情報誌を読んだのご意見ご感想などを記入の上、平成27年1月末日(消印有効)までに「応募ください」の封筒に入れてください。抽選の結果は、平成27年3月頃の粗品の発送をもって発表にかえさせていただきます。なお、いただいた個人情報、抽選の目的以外には使用いたしません。

応募はがきの宛先
〒273-10003
船橋市宮本2-1-4 船橋市男女共同参画センター まで

男女共同参画センター施設案内

男女共同参画センター

は、職場や家族、地域などのあらゆる場で、男女が平等な立場で参画し、自分らしく生きることのできる男女共同参画社会の形成の促進を図るため設置されています。各種講座の開催や会議室の貸出、相談業務などを行っています。

会議室

男女共同参画社会の実現に向けた活動や学習を行う団体等に、有料で部屋の貸し出しを行っています。

保育

お申込みは、インターネットによる予約となりますが、事前に使用登録申請が必要となります。詳しくは、お問い合わせください。

図書コーナー

図書コーナーでは、一人につき三冊までの図書を、二週間貸し出ししています。

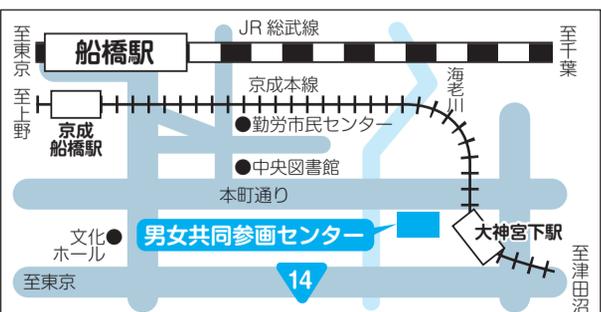
交流コーナー

少人数のミーティング、学習、おしゃべりの場として、グループや個人で使えるリーススペースです。

保育

画センターの主催事業には、すべて無料で保育が用意されています。子育て中の方は、子ども室に子どもを預けて、講座や研修会に参加できます。対象は、一歳から就学前のお子さんで、一週間前までに予約が必要となります。詳しくは講座のちらし、センターホームページをご覧ください。

【開館時間】
月曜日～土曜日 午前9時～午後10時
【休館日】
日曜日、祝休日、年末年始
☆駐車場はありませんので、他の交通機関をご利用ください。
【交通】
京成線大神宮下駅下車 徒歩約5分
JR船橋駅下車 徒歩約12分



平成26年度 コンクール入賞者・作品発表

(敬称略)

男女共同参画に関する標語と写真のコンクールを行いました。
たくさんのご応募ありがとうございました。
今回受賞された方の作品は、当センターホームページでご覧いただけます。

写真コンクール (テーマ:イクメン・カジダン)



夫の休日、菜園にて。家族みんなが大好きな絵本「おおきなかぶ」の世界を真似て、野菜の茎を引っ張っているところです。「さあ、次は誰を呼んでみようかな。」と会話も弾みました。



最優秀賞
「うんとこしょ、どっこいしょ」
絵本 (ハンドルネーム)

優秀賞
「しゃぼん玉の向こうに」
鈴木 操子

- 優良賞** ◆子守り 大田 礼子 ◆真夜中の高い高い! 望月 徳子
- ◆パパと散歩! ケン太 ◆消火活動、頑張るよ りっくんパパ
- ◆帰省後の後片付け 永野 嘉恵

標語コンクール(中学生の部)

- 最優秀賞** 男女とも 並んで歩ける 道づくり 金杉台中学校 3年 目崎 拓登
- 優秀賞** わかり合い 共に輝く パートナー 七林中学校 3年 上杉菜々子
- 思いやり 笑顔の花を 咲かす種 習志野台中学校 3年 布施 晶帆
- 優良賞** よい社会 男女そろって 成り立つ未来 大穴中学校 3年 澤谷 真裕
- 差別なく 男女で作る 明るい未来 小室中学校 3年 和泉 翔哉
- 助け合い 幸せいっぱい よい社会 豊富中学校 3年 篠崎 晴花

標語コンクール(一般の部)

- 優秀賞** 分ち合い 共に進んで より高く 不破 恵美
- 優良賞** 思いやり あふれる社会 明るい未来 石田よし子
- 積み重ね 大きく育つ 心の信頼 佐原 廣司



優秀賞
「食事の後片付け」小出 由志子



優秀賞
「父達の夏休み」佐野 真理

デートDVとは



交際相手からの暴力を言います。DV(ドメスティック・バイオレンス)は、大人の間だけに起こることではありません。若い人達の交際にも、男女の対等でない力関係による支配が存在しています。デートDVは決して他人事ではありません。

交際相手が暴力をふるったり、あなたの心を傷つけたりするような人だとしたら、なぜあなたは、その人のことを「好き」だと思うのか、一度冷静になって考えてみましょう。

被害にあっていませんか?

- 「バカ」「ブス」「デブ」など、自分をバカにしたようなことを言われる。
- ささいなことで、すぐ不機嫌になって無視される。
- 携帯電話のメールや通話履歴などをチェックされる。
- 自分以外の異性と会うことを制限される。
- 服装や髪型、態度、友人関係など細かくチェックされる。
- キスや性行為を無理に要求される。
- 別れようとする、「付きまとしてやる」「自殺してやる」などと言って脅し、別れてくれない。

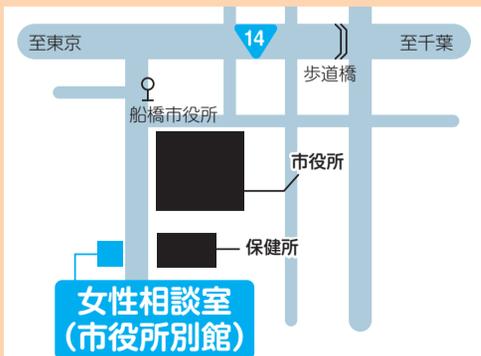
各種相談のご案内

(相談無料、通話料は自己負担)

女性相談室(児童家庭課)

女性相談

◆婦人相談員が幅広く女性からの相談に応じます。
047-431-8745《専用電話》
月曜日～土曜日 9時～17時
※面接相談は、なるべくご予約ください



船橋市男女共同参画センター

047-423-0757(予約受付)

女性の生き方相談

◆女性のカウンセラーが相談に応じます。
(予約制)
毎週金曜日 10時～16時
毎月第3水曜日 16時30分～21時

女性のための法律相談

◆女性弁護士が相談に応じます。
(予約制)
毎月第1木曜日、第3月曜日、第4水曜日
※時間はお問い合わせください

男性の生き方相談

◆男性のカウンセラーが相談に応じます。
047-423-0199《専用電話》
(予約不要)
毎週月曜日(祝休日の場合は火曜日)
19時～21時(電話相談のみ)

配偶者や恋人からの暴力は絶対に許されません!

ひとりで悩まず相談を…
～秘密は守られます～

千葉県女性サポートセンター
043-206-8002《専用電話》
女性からの相談を365日24時間受付しています
※面接相談有 平日9時～17時(要予約)

千葉県男女共同参画センター
☆女性のための総合相談
火曜日～日曜日 9時30分～16時
月曜日が祝日の場合の翌日火曜日、
祝日、年末年始、臨時休館日は休み
04-7140-8605《専用電話》
☆男性のための総合相談
火・水曜日 16時～20時
月曜日が祝日の場合、翌日火曜日は休み
043-285-0231《専用電話》